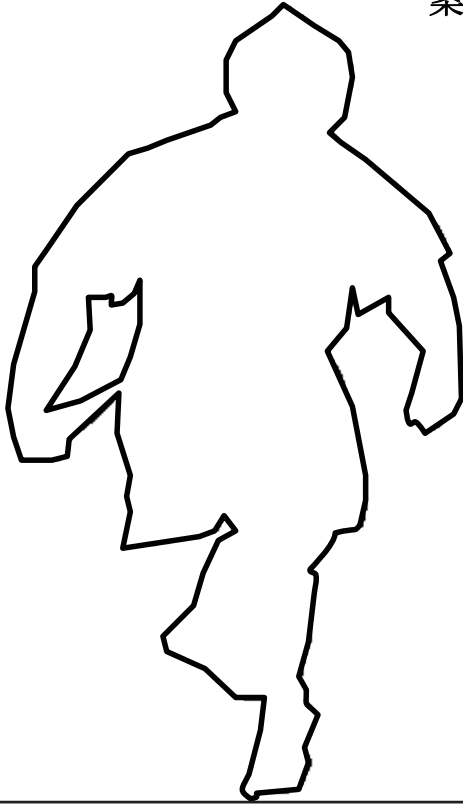


こども  
子供のインターネットバイブル  
あんない  
案内いたします



おう  
王さまダビデ  
(その1)

ぶん  
文: Edward Hughes  
え  
絵: Lazarus

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick  
しゅつばんしゃ  
出版社: Ruth Klassen

60話の第20話

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

ダビデは、あちらこちらと、にげまわっていました。それは、サウル王がダビデを殺そうとさがしていたからです。あるとき、ダビデはだれも人の住んでいない荒れた地に、ものすごく大きいほら穴を見つけましたよ。ダビデは、400人のけらいとそこに住むことにしました。



1

あっ、あぶない! はやくかくれて! とときどきサウルの兵士たちに、見つかりそうになります。でもね、ダビデは、いつもうまくにげていますよ。



2

サウルの召しつかいに、ドエグという人がいました。この人はサウルに、そっと言いました。「じつは祭司たちが、ダビデがにげるのを助けたんですよ。」それを知ったサウルは、めいれいしました。「祭司を殺してしまえ！」

召しつかいの中で、ただドエグだけが、よるこんでサウルのめいれいにしたがいしました。かれは、ひどいことに、85人の祭司とその家族みんなを、自分のつるぎでさし殺しました。なんてひどいことでしょう。



3

ある日、サウルは、ダビデをさがしながら、ちょうど見つけたほら穴の中へ、入っていきました。でもね、そのほら穴には、ダビデとけらいたちがかくっていたのです。サウルは、たった1人でしたよ。



4

ほら穴の中にかくれていたダビデ、いまがチャンスです。かれは、いまサウルをかたんに殺せるのです。さあ、ダビデはサウルを殺したでしょうか。いいえ、そのかわりにね、ダビデは、

そうっとサウルにちかづき、みじかいつるぎを取り出し、ゆらゆらした上着のはしを切り取ったのです。サウルがほら穴から出ていったとき、ダビデはうしろからついていき、サウルを呼びました。



5

「サウル王、ダビデです。少しまえ、わたしは、あなたの上着のはしを切り取りました。さあ、見てください。

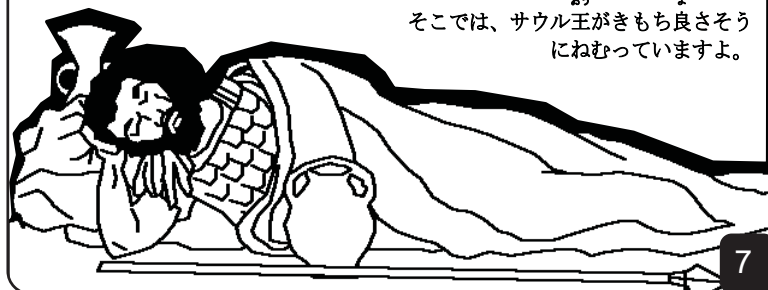
わたしは、あなたを殺すことができました。でも殺さなかったのです。わたしは、あなたをにくむことも、仕返ししようとも思っていないのです。



6

「なんと自分は、悪いやつだろう。」そのとき、サウルは、ダビデを殺そうとした自分を、心からはずかしく思いました。ところが、またすぐに、むかしのことを思い出し、ダビデへのにくしみと怒りの心が、わいてきました。そして、またしてもダビデを殺そうと、3000人も軍をつくりました。ある夜、サウルの軍がねむっているとき、その軍のキャンプに、ダビデと1人の兵士アビシャイが、そっと軍のキャンプにしらびこみしました。

そこでは、サウル王がきもち良さそうにねむっていますよ。

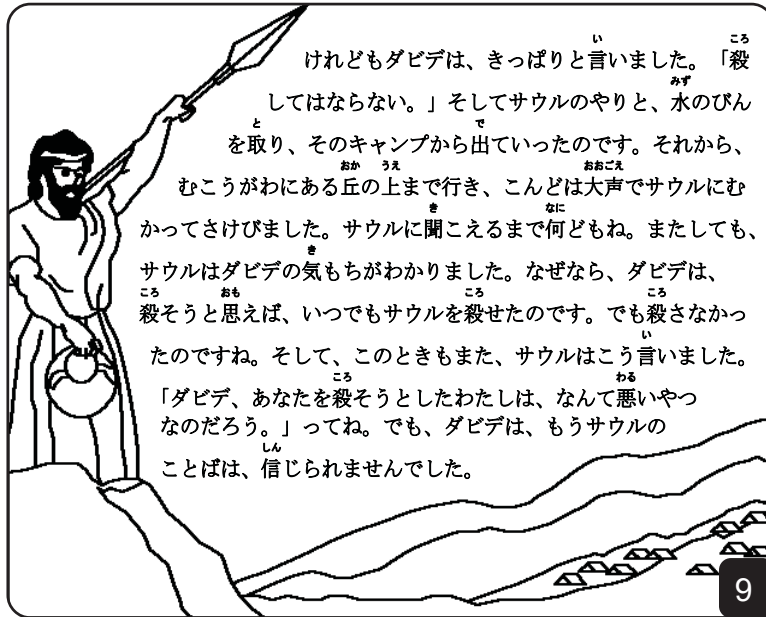


7

「ダビデさま、神さまはきょう、あなたのてきサウル王を、あなたの手にくださっているのです。勝つことができるのです。」アビシャイは、小さな声でささやきました。「どうぞ、サウル王をわたしのやりで、殺させてください。たった一つきで殺せますから。」

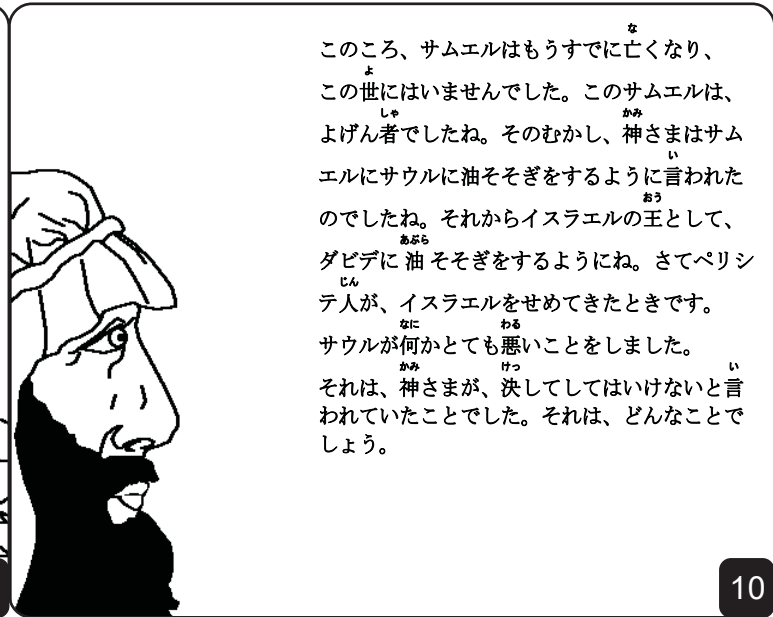


8



けれどもダビデは、きっぱりと言いました。「殺してはならない。」そしてサウルのやりと、水のびんを取り、そのキャンプから出ていったのです。それから、むこうがわにある丘の上まで行き、こんどは大声でサウルにむかってさげびました。サウルに聞こえるまで何でもね。またしても、サウルはダビデの気もちがわかりました。なぜなら、ダビデは、殺そうと思えば、いつでもサウルを殺せたのです。でも殺さなかったのです。そして、このときもまた、サウルはこう言いました。「ダビデ、あなたを殺そうとしたわたしは、なんて悪いやつなのだろう。」ってね。でも、ダビデは、もうサウルのことばは、信じられませんでした。

9



このころ、サムエルはもうすでに亡くなり、この世にはいませんでした。このサムエルは、よげん者でした。そのむかし、神さまはサムエルにサウルに油そそぎをするように言われたのでした。それからイスラエルの王として、ダビデに油そそぎをするようにね。さてペリシテ人が、イスラエルをせめてきたときです。サウルが何かとても悪いことをしました。それは、神さまが、決してしてはいけないと言われていたことでした。それは、どんなことでしょう。

10



サウルは、ある女の人のところへ行きましたよ。そして、かの女に死んでしまったサムエルを、もういちどこの世に呼ぶようと、めいれいしたのです。その夜のことで。サウルは、どこからか、こう言われているのが聞こえました。

11



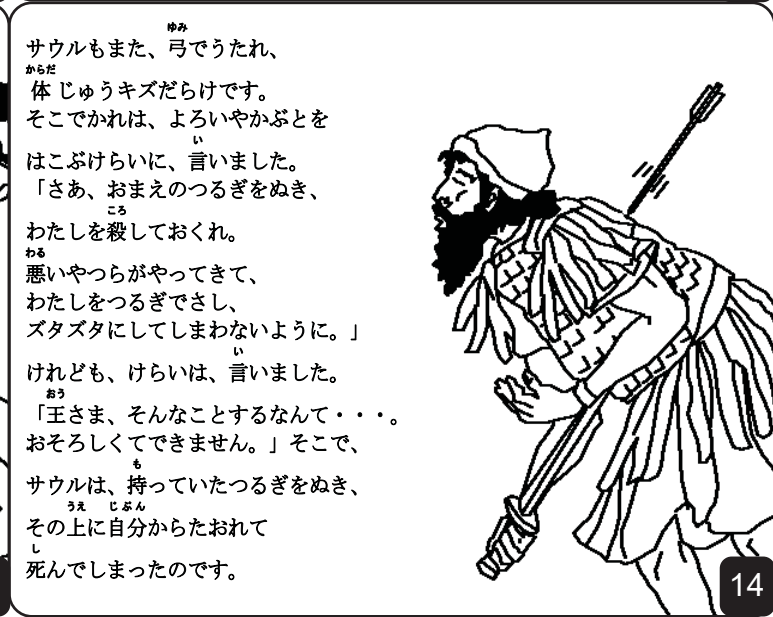
「・・・サウル、主はあなたから、もうはなれてしまわれた。そして、てきとなくなってしまわれたのだ・・・。主は、あなたの王国をとりあげられてしまい、それを、あなたがよく知っている人、つまりダビデにあたえられるだろう。また、あすになれば、あなたとむすこたちは、死んでわたしが今いるところに来るのだ。また主は、こうも言われている。イスラエルの軍は負け、ペリシテにすべてをとりあげられてしまうだろうと。」これ聞いたサウル、おそろしさのあまり、たおれてしまいました。

12



ペリシテ人は、イスラエルとはげしく戦い、イスラエルの男たちはみんな、とうとうにげてしまいました。そのとき、ペリシテ人はサウルのむすこたちも殺したのです。そう、ダビデのたいせつな友、ヨナタンもね。

13



サウルもまた、弓でうたれ、体じゅうキズだらけです。そこでかれは、よろいやかぶとをはこぶけらいに、言いました。「さあ、おまえのつるぎをぬき、わたしを殺しておくれ。悪いやつらがやってきて、わたしをつるぎでさし、ズタズタにしてしまわないように。」けれども、けらいは、言いました。「王さま、そんなことするなんて・・・。おそろしくてできません。」そこで、サウルは、持っていたつるぎをぬき、その上に自分からたおれて死んでしまったのです。

14



「おい、  
サウルとむすこたちが死んでいるぞ！」  
かれらを見つけたペリシテ人たちは、  
その死体をイスラエルの町まではこびました。  
そして、サウルたちの死体をこの町のか  
べにしっかりとはりつけたのです。  
今、この町は、  
もうペリシテのものなのですね。

15



けれども、この町に、  
まだ何人かのゆう気あ  
るイスラエルの兵士たちがのこ  
っていました。これらの兵士は、  
サウルたちの死体をかべから下ろし、  
自分たちの家にもってかえりました。  
そして、火でもやして、  
イスラエルの地にうめ  
てあげたのでした。

16



そのひどい知らせを聞いたダビデ、  
ほんとうにかなしくてたまりません。  
そして、サウルやヨナタン、  
神の民イスラエルのことを思い、  
泣いて夕方まで何も食べませんでした。  
なぜなら、かれらはつるぎによっ  
て死んでしまったのですから。

17



サウルは、ダビデをなんども殺そうとしました  
ね。でもダビデはさいごまで、神さまが油そそぎ  
をされたサウルを、自分よりえらい人と思ってい  
ました。サウルが亡くなってしまった今、神さま  
はダビデをほめたたえられましたよ。そしてサウ  
ルのおしろの王さまになさったのです。

18

おう  
王さまダビデ (その1)

かみ み せいしよ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

きじょう しょう しょう きげ しょう しょう  
サムエル記上 24 章 - 31 章 ; サムエル記下 1 章 - 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130

かみ わたし  
神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。  
神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

かみ わたし  
神さまは、私たちをととも愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいまし  
た。そして、イエスさまが十字架上で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくだ  
さったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へ  
もどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。  
愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなくなってくださり、よみがえって、今また  
生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください  
い。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あな  
たといっしょにいることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、  
たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3 : 16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！